

秋田県高等学校の再編整備構想検討委員会 第4回会議 中央地区部会（概要）

1 日 時

令和4年9月2日（金） 15：05～16：04

2 場 所

秋田地方総合庁舎 総605会議室

3 出席者

○秋田県高等学校の再編整備構想検討委員会委員 7名

○事務局（高校教育課） 4名

4 協 議

委員からの主な意見

- ・進学を中心校は6学級を保つべきであるが、地域によっては5学級になるのではないかと思う。
- ・地域や産業という観点から、いかにして高校の魅力や特色を打ち出していくのか。またその魅力や特色を、地域みらい留学のような形で発信していくことができれば、県内の生徒だけでなく、県外、都会に住む生徒たちにとっても魅力になる可能性があるのではないか。高校の魅力をどうつくっていくかというのは、地域の関わりがなければできない。
- ・岩手県安比にインターナショナルスクールが新設されるというニュースを聞き、やはり学校の魅力は大切だと思った。また、羽後高校での給食提供をニュースで知り、地域で子ども一人一人を大切にするような学校も必要ではないかと思った。
- ・高校の特色ということが話されているが、統合して新しい高校をつくり、市や企業などの協力を得て、産学官で連携すれば良いアイデアが出てくるのではないか。その特色を大々的に中学生に紹介していければ、地元で勉強しようという生徒が増えるのではないか。
- ・秋田県に生徒を呼び込むという発想をもっと広げた方が良い。そうすれば、秋田県の高校の再編整備の意義が更に良いものになっていくのではないか。
- ・社会で通用するノウハウを何で学ぶのかと考えたときに、高校での部活動には非常に大きな意義があると思っている。

- ・地域校化して、オンラインで授業を受け、スクーリング形式で学校に来てもらうことも一つの方法である。
- ・特別な事情のある学校については、地域が高校生のために何ができるのかという観点を新たに加えて、存続をしなければならないのではないか。